

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

| 学校名 | 埼玉県立所沢西高等学校 | | Bグループ |
|------------|--|---|-------|
| 項目 | 調査の観点 | 取組状況に関する所見 | |
| 目指す学校像 | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。 | 学校の現状等を踏まえ、目指す方向が示されている学校像である。生徒・保護者・地域の期待やニーズなどをより広く把握・分析した上で、目指す学校像をより具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。 | |
| 重点目標 | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、目指す学校像の実現に向けて重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを詳細に把握した上で、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。 | |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。 | 学校全体のシートに基づいて分掌・委員会・学年のシートを作成し、各組織の年度当初目標を一覧表にして共有するなどの工夫を行っている。分掌・委員会・学年間の連携を図り、よく議論しながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備するなど、教職員全体の参画を促していただきたい。 | |
| | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。 | 学校関係者評価を基に、生徒が自主的に学べる環境作りのために自習室を整備するなど、課題の解決に取り組んでいる。方策と評価指標がやや抽象的なものとなっているので、具体的な方策を策定し、その達成状況を検証できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。 | |
| | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。 | 校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。 | |
| | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。 | 生徒・保護者アンケート、生徒・保護者・教職員の代表による「三者協議会」などを実施し、学校自己評価のための情報を多角的に収集している。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果などを詳細に分析して、次年度の具体的な取組につなげるようにしていただきたい。 | |
| 特記事項 | | | |